

一志会は、「公の精神」のもとに社会との関わりをもち積極的に責任を果たそうとの想いを共有する大企業経営幹部の会員制の「コミュニティ」ですが、10月24日に第18回例会を開催しました。



十市氏

今回のゲストは、一柳の古くからのエネルギー分野の勉強仲間であり、先生役でもある日本エネルギー経済研究所研究顧問の十市勉氏をお迎えしました。十市氏は、昭和48年に日本エネルギー経済研究所に入所以来、一貫してエネルギー分野を中心に研究を続けられ、この間に、マサチューセッツ工科大学エネルギー研究所客員研究員などを経て、日本エネルギー研究所専務理事(最高知識責任者・戦略グループ担任)・主席研究員まで務められ、我が国におけるエネルギー・環境分野について中立的な立場で幅広い知見を有する第一人者としてご活躍されておられます。

「世界のエネルギー情勢と日本のエネルギー政策のあり方」と題した卓話では、まず日本を取り巻く世界のエネルギー情勢を、(1)「アラブの春」と高まる中東の地政学リスク、(2)世界のエネルギー地図を塗り替える「シェール革命」、(3)福島後の世界の原子力発電の開発動向、と大きく俯瞰したうえで、日本のエネルギー政策の現状と課題について多面的に整理されてわかりやすくお話されました。



尾崎氏

メンバーからは、エネルギー動向は事業継続上、大きな関心事であることから質問が続き、認識を深める良い機会になりました。

会員の交流時間帯では、まず新規会員の尾崎・損害損保ジャパン執行役員から自己紹介がありました。続いて、会員からは、島・島精機製作所副社長、柳生・プチファーマシスト社長、富加見・インテック取締役、尾田・日本トリム専務から近況報告がありました。

また、有志による特別例会の幹事を務めている椎名・PWC社長から10月21日に実施した「東京駅見学会」の報告と来年2月末に1泊で実施する「トヨタ自動車見学会」の案内があり、



椎名氏



赤石氏



藤井氏

これを受けて「東京駅見学会」の共同幹事を務めた赤石・JR東日本執行役員、「トヨタ自動車見学会」の共同幹事を務める藤井・トヨタフリートリース社長、宿泊会場を提供いただく神野・サーラコーポレーション社長からお話がありました。最後に吉岡・アスクル取締役から同社がカルビーと共同開発したネット販売限定の新商品シリアル「マイグラノーラ」のご披露とネット流通の特色について興味深い説明があった後、新製品の配付を巡ってジャンケン大会となり、大いに盛り上がりました。



神野氏



島氏



柳生氏



富加見氏



尾田氏



吉岡氏